

学会記事

2009年度 第1回理事会 議事録

2009年7月11日
日本地質学会
会長 宮下純夫

期日：2009年6月13日（土）

13：00～15：40

場所：地質学会事務所

出席者：宮下会長、高木副会長、佃副会長、
渡部常務理事 藤本副常務理事 岩森 上
砂 齋藤 久田 藤林 向山 矢島 各理
事、橋辺（事務局）

欠席者：井龍 石渡 倉本 小嶋 坂口

* 成立員数（12/17）に対し、出席者12名、
委任状5名、欠席者0名で、理事会は成立。

* 前回議事録の承認

○報告

1. 運営財政部会（部会長-上砂、向山、倉
本、坂口）

総務委員会（委員長-上砂）

報告事項

- ・天文学会、日本プラネタリウム協議会、
日本公開天文台協会、天文教育普及研究
会より、指定管理者制度の関する共同声
明文が送付された。
- ・（財）尾瀬保護財団より、第13回尾瀬賞
の募集案内（4/1-10/31）→News誌、
HP掲載
- ・学術団体の知的財産のアンケートにつ
いては総務委員会が対応

会員関係（担当理事-向山）

1) 入会者48名（正8、正院割35、準5）
1名の入会者について事情を考慮し院生
割引を適用することとした。

（正）豊福高志 北澤和男 豊田新 上手
真基 山根博 安曾潤子 石坂岳士 福田
惇一（院割）和田卓也 加瀬善洋 平松
圭 平下奈奈 下條将徳 市澤恵爾 岡本
康垂 比嘉啓一郎 野村香織 三石真祐瞳
二宮淳 米谷奈々 尾崎聡史 小山薫 佐
藤大介 新谷友彦 中西俊貴 平井絢子
木村亨輝 清水祐也 長松雄 新井和乃
和田達也 井出祐介 大塚宏徳 須藤雄介
佐々木泰典 後藤隆嗣 柴田聡 石黒拓央
武部義宜 佐藤力樹 金沢晋太郎 野川裕
吉田明弘（準）西井彩 菅井一磨 中村祐
樹 一宮大和 中野豪士

2) 退会者 3名（正3）

（正）石川友美、尾崎裕司、小林今日子

3) 逝去者 2名（名1、正1）

（名）加納 博（6月6日）、（正）井田隆
勝（6月6日）

4) 5月末日会員数

賛助30、名誉72、正4150（うち院 134）、
準22、合計4274（前年同期比 -98）

地球惑星科学連合（久田連絡委員）

・地球惑星連合環境災害対応委員会から委
員に対し、各学会の環境災害に関する取
り組みについてのアンケートがあり、小
荒井委員、横山委員から返答。

広報委員会（担当理事-倉本=情報特任・
坂口）

- ・フォトコンテストについて検討中
- ・Webサイトの整備計画（MLシステムカ
スタマイズ作業）が完了した

2. 学術研究部会（部会長-石渡）

行事委員会（担当理事・委員長-斎藤）

- ・岡山大会について
年会全体の共催：日本化学会・岡山理科
大オープンリサーチセンター
シンポジウムの共催：地学教育学会・情
報地質学会・J-desk
講演終了後の拍手の奨励→学会全体の注
意事項で流す
- ・2010年富山大会について

国際交流委員会（担当理事-石渡=国際特
任理事）

- ・日蒙交流協定について
10月のモンゴル地質学会70周年総会での
締結を先方が要望
→会長+国際特任理事の2名を学会か
ら派遣
- ・日韓交流について
1) 10月下旬の韓国地質学会ではジオ
パークなどの英語セッションを設ける
予定
2) 役員相互招待（隔年）、予算につ
いて基本的に対等平等（基本的には自
己費用原則）で相互交流を進展、学会
登録料などの検討

地質環境の長期安定性に関する委員会（委
員長-吉田英一）

原稿完成が予定より遅れて夏以降の見込み

3. 編集出版部会（部会長-久田、小嶋、岩
森、井龍）

地質学雑誌編集委員会（委員長-久田 副
委員長-小嶋、岩森=企画担当）

- ・今月の編集状況は以下の通り（6/9現在）
115-06月号：論説3 短報2 口絵1
（50p.校正中）
115-07月号：総説6（特集号「最終間水
期の環境変動-日本列島陸域と周辺海域
の統合を目指して-」世話人：公文富士

夫ほか）入稿準備中

- ・2009年度投稿論文 総数25編 [論説11
（和文11）、総説3（和文3）短報8（和
文8）、ノート2（和文2）報告1（和
文1）] 口絵3（欧文1・和文2）投稿
数昨年比 -37 査読中60編 受理済み
17編（うち通常号6 特集号11）
- ・新編集規則（旧編集規約・投稿規定）の
9月施行に向けて、会員に対し事前周知
のため、ニュース誌6月号等で広報を開
始した。
- ・インパクトファクター（IF）取得に向
けて
トムソン社に条件が揃った時点で申請を
行う。
- ・地質学雑誌の英文のHPと投稿規程など
の英文化を図る、翻訳を業者に依頼する
（費用は20万円程度）、会員外投稿も認め、
オープンジャーナリズムも検討
企画部会報告（岩森）
- ・編集規約ならびに細則の英文化を検討

Island arc編集委員会（担当理事-井龍、事
務局長 竹内圭史・角替敏昭）

- ・IAR編集状況、および編集事務局の仕事
について、竹内事務局長より書面で報告
があった。

企画出版委員会（担当理事-藤林）

- ・リーフレット刊行委員会関連
1) 刊行委員会委員の選出について
2) 企画出版手続きについて
企画書の書式、出版物の規格化、査読方
法、などについて、現在委員長等で検討中
3) 青木ヶ原溶岩のリーフレットの企画提
案
たんけんマップと国立公園の2種類出す
予定

4. 普及教育事業部会（部会長-矢島、藤林）

地学教育委員会（委員長-中井均）
連合の地学教育検討委員会委員につ
いては、阿部会員から渡邊正人会員に交代

5. 各委員会等

支部長連絡会議（担当理事-高木）
・関東支部総会（6月6日）は、新支部長
として伊藤谷生氏を選出。

JABEE委員会（委員長-天野）

- ・臨時総会開催（一般社団法人に移行後）
6/30に橋辺事務局 代理出席

ジオパーク支援委員会（委員長-天野）

- ・支援委員会でポスターを作成中。

法人化作業委員会（担当理事・委員長-渡

部)

- ・ 学術会議WSの紹介 (藤本理事)
行政側からの説明やいくつかの学協会の対応、学術会議の調査研究などの紹介があった。現状では公益法人化に対して慎重な学協会が増えている。公益法人は必ずしも学協会を念頭に置いたものではなく、学術法人のような枠組みを学術会議としても検討。

法務委員会 (担当理事・委員長 上砂)

- ・ 5月17日の総会後に臨時理事会を開催し、除名問題について非申立人と申立人に対し法務委員会から裁定書を提出した。非申立人からは受領書が届いたが申立人 (1号・2号) からは受領書が届いていない

6. 地質の日委員会 (藤林委員)

- 5月10日に本部主催でイベント (鎌田浩毅 会員講演会) を開催し、90名ほどの参加者があり盛会であった。

7. 日本ジオパーク委員会 (高木委員)

- ・ 6月19日: 本年度の日本および世界ジオパークの申請の締切。
- ・ 7月10日: 本年度第1回ジオパーク委員会

8. NPO地学オリンピック日本委員会 (久田)

- ・ 二次選抜をつくばにおいて2泊3日で行う。
- ・ 2012年日本開催についての状況
- 1) 2009年は台湾、2010年はインドネシア、2011年はまだ未決定
台湾大会からは参加国数も増加の見込み。
- 2) 国内開催の他の科学オリンピックでは2.3億円の寄付を集めているが、地学オリンピックでは厳しいことが予想される。日本地学オリンピック委員会としては前向きに検討しているが、まだ開催の意思は固まっていない。→ 地質学会としては2012年の開催を前向きに支援。

9. 日本学術会議 (佃)

- ・ 第四紀再定義の件
始まりが2.58Maになる、第四紀は残るが、第三紀は消える。IUGSで今後決定予定 次回のIUGS総会 今年中に決定の見込み。

○審議事項

1. 法人への移行についての諸問題の検討
2. 第四紀再定義の国内対応方針について
学術会議、産総研、第四紀学会、連合等との共同
変更に関する背景や影響についての解説やシンポジウム、国内コンセンサス作り (地質基準) 担当 佃副会長 齊藤理事

3. その他

- 1) 9月評議員会議題
事業報告
地質学雑誌の会員外投稿の扱いについて
以上

2009年度 第2回理事会 議事録

2009年7月21日
日本地質学会
会長 宮下純夫

期日: 2009年7月11日 (土) 13:00~17:00
場所: 地質学会事務所

出席者: 宮下会長, 高木副会長, 渡部常務理事 藤本副常務理事 上砂 倉本 小嶋 齋藤 坂口 藤林 向山 各理事, 橋辺 (事務局)

欠席者: 佃副会長, 井龍 石渡 岩森 久田 矢島

- * 成立員数 (12/17) に対し, 出席者11名, 委任状6名, 欠席者0名で, 理事会は成立。
- * 前回議事録の承認

○報告

1. 運営財政部会 (部会長-上砂, 向山, 倉本, 坂口)

総務委員会 (委員長-上砂)

報告事項

- ・ 中越防災安全推進機構 (長岡市) から震災アーカイブス収集に関するアンケート
- ・ 学術会議より「研究現場において研究を進める上で支障になっている事項」に係るアンケートの結果報告, 学術会議会長から総合科学技術会議有識者会合で説明予定。
- ・ 高知大学海洋コア総合研究センターから「地球掘削科学共同利用・共同研究拠点」として文科省から認定された報告 (礼状) があった。
- ・ 東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の推薦依頼→News誌, HPに掲載
- ・ 沖縄研究奨励賞の推薦応募依頼→News誌, HPに掲載
- ・ 女性科学者に明るい未来をの会「猿橋賞」の推薦依頼→News誌, HPに掲載
- ・ 朝日賞の推薦依頼→News誌, HPに掲載
- ・ 国立国語研究所から, 著作物の言語データベースKOTONOHAにサンプル文章として著作物 (地質基準) の採録許諾について依頼があり承諾した。
- ・ 石油資源 (株), 日本海洋石油資源開発 (株) から役員交代挨拶状
- ・ 無機マテリアル学会 (会長 吉澤慎太郎), 地盤工学会 (会長 近藤徹), 土木学会 (会長 浅岡顕) 役員交代挨拶
- ・ JAMSTEC主催の一般講演会の共催依頼

(9/6岡山) →承諾

会員関係 (担当理事-向山)

- 1) 入会者45名 (正3, 正院割39, 準3)
(正) 大森聡一 赤嶺俊輔 桑谷 立, (院割) 最首花恵 植木忠正 鈴木孝明 加茂圭祐 鈴木俊之 小畑怜子 三澤文慶 生賀大之 光原奈美 杉山直也 河邑圭太 牧野美里 遠藤孝義 大鹿淳也 山田 友徳 増由美子 吉野恒平 松本拓也 坂部達哉 高倉清香 遠藤晴美 植松 敏畑 中彩 甲藤寛之 丸山美智子 垣内一秀 菅原 雄 大橋義也 岡田吉弘 石川友夏子 小安浩理 田村壮礼 永田知研 南條貴志 Kabir Md Fazle 坂 耕多, (準) 大友和夫 西口達也 泉谷直希
- 2) 退会者 9名 (正9)
(正) 松尾泰博, 八島隆一, 鈴木芳行, 長谷川裕樹, 野入久幸, 岩本はるか, 青柳大介, 及川里英, 横山忠正
- 3) 逝去者 1名 (名1)
(名) 松井 健 (6月21日逝去)
- 4) 6月末日会員数
賛助30, 名誉75, 正4179 (うち院 170), 準26, 合計4310 (前年同期比 -84)

会計関係 (担当理事-向山)

- ・ 中部支部から地域の児童生徒及び保護者対象の観察と採取中心の巡検企画に対する補助金の申請。申請額5万円 (経費合計13万円 - 参加費5万 + 支部予算3万) を審議し承認した。
- ・ 岡山大会のポスターと市民講演会ポスターの原画作成をしていただいた, (株) 林原の雨宮氏に対し謝礼 (2万円 + 懇親会招待) を支払うこととした。
- ・ 2009年度支部補助金の配分予定 (会員数比例)
北海道74,000円, 東北76,800円, 関東174,800円, 中部110,400円, 近畿110,400円, 四国71,200円, 西日本99,200円
法人化後, 現在の支部の資産をどのようにするかを至急会計委員会で検討する。

広報委員会 (担当理事-倉本 = 情報特任・坂口)

- ・ フォトコンテストについて
IYPEの関係団体を通じて周知
- ・ 広報誌ジオルジュの発行について, 独自に出版するか雑誌とタイアップするかの検討
小学館のBE-PALと折衝 先方は地質の記事の掲載には前向きで継続協議とした
- ・ 広報関係の様々な媒体の関係についての整理 (ジオフラッシュ, ニュース誌, ホームページ, ジョルジュ, フォトコンテスト) を了承した
- ・ ニコン広報誌からの記事依頼 (会長対応) については, ジョパークのことなどをプロのライターが書いて掲載する方向であることが報告された。

2. 学術研究部会（部会長-石渡）

行事委員会（担当理事・委員長-斎藤）

1) 岡山大会について（資料参照 2-7）

- ・順調に準備は進んでいる。
- ・JAMSTEC（巽会員）から一般向け講演会の企画申請があり、地質学会に共催の依頼。

「ちきゅう」の掘削成果と今後のプロジェクトを市民に紹介。

- ・地質情報展会場におけるミニ講演会の開催について 9月5日午前
- ・ジオパークワークショップ 9月5日午後
ジオパークの申請についての実務的な問題を扱う。

- ・会場までの貸し切りバスの運行について、準備委員会よりの提案

初日9月4日の朝のみ、付属高校の通学ラッシュとぶつかるので貸し切りバスを出すことで対応したい。岡山駅発2台程度、貸し切り費用1台12,600円

通常のバス運賃は岡山駅から190円なので利用者からの路線バス額に相当する費用徴収を検討。

法界院駅からは、理科大学のバスを出す予定（JRで岡山駅から法界院駅まで140円）

- ### 2) 連合からプログラム委員2名の推薦依頼があり、七山太会員（継続）他1名を推薦予定。

3. 編集出版部会（部会長-久田，小嶋，岩森，井龍）

地質学雑誌編集委員会（委員長-久田，副委員長-小嶋，岩森=企画担当）

- ・今月の編集状況は以下の通り（7月10日現在）

115-07月号：総説6（特集号「最終間水期の環境変動-日本列島陸域と周辺海域の統合を目指して-」世話人：公文富士夫ほか）（校正中）

115-08月号：

- ・2009年度投稿論文 総数31編〔論説15（和文15），総説3（和文3）短報10（和

文9 英文1），ノート2（和文2）報告1（和文1）〕口絵4（英文1・和文3） 投稿数昨年比 -46 査読中63編 受理済み25編（うち通常号8 特集号17）

- ・特集号「プレート沈み込み帯と地震（世話人：廣野哲朗ほか）」の査読が完了した（6/3付け），近日掲載予定。
- ・新編集規則（現編集規約・投稿規定）の9月施行に向けて，会員に対し事前周知のため，ニュース誌6月号等で広報中。
- ・岡山大会のシンポなどの特集号化を呼びかける事とした

企画部会報告（岩森）

- ・トムソン社への英文レター草稿作成・添削中。

Island arc編集委員会（担当理事-井龍，事務局長-竹内圭史・角替敏昭）

- ・IAR編集状況について
編集は概ね順調 2008年のIFが前年の0.837から1.038に上昇。

企画出版委員会（担当理事-藤林）

- ・リーフレット出版規約案作成→審議事項

4. 各委員会等

JABEE委員会（委員長-天野）

- ・臨時総会開催

4月1日一般社団法人設立

地球科学部門から資源素材学会会長の山富二郎氏（東京大学）が理事になった。理事を選出した母体は特別会費として年間20万円支払うこととなる。

ジオパーク支援委員会（委員長-天野）

- ・岡山大会でワークショップ（9月5日）を開催，日本ジオパークネットワークと共催予定。GGN決定予定3地域を含む各地域に講演依頼，とくにこれから認定を目指す地域へのガイダンスを中心に据える。同時に開催のプレス発表を予定（8月22日のGGN決定と同時に）。

- ・ポスター原稿完了

- ・ジオパークに関する行事予定

新潟大学：糸魚川ジオパーク展（9月1日-11月29日），信州大学：上高地キックオフミーティング（8月）

- ・支援委員会の認知度をあげることを検討。

日本ジオパーク委員会（高木委員）

- ・申請のあった8地域について現地調査などを経て9月24日の委員会で決定。申請地域は以下の通り。

GGN加盟申請希望地域：山陰海岸・室戸・秩父

JGN認定希望地域：白滝黒曜石・恐竜溪谷ふくい勝山・阿蘇・天草御所浦・隠岐

- ・昨年GGNに申請した3地域は8月22日に中国の会議で決定見込

法人化作業委員会（担当理事・委員長-渡部）

- ・7/11 午前中委員会の結果概要を報告。選挙実施に向けて細目の検討，その他（法人執行理事会において審議）

○審議事項

1. リーフレット出版規約案の策定

- ・国立公園リーフレットシリーズおよびたんけんマップに関する 二つの規約を作成し，意見の集約を行う。

- ・リーフレットシリーズ企画出版委員会で専門家の関与や査読などの体制を整備し，提案された企画の採否の判断をし，それに基づき最終の企画提案書や印刷の承認は理事会がおこなう。

- ・9月に第1回目の企画出版委員会を開催予定

2. その他

- 1) 秋吉台博物館への楯に記載の表彰文の文案決定

- 2) 9月評議員会議題
各種報告事項
任意団体の解散について
その他

以上